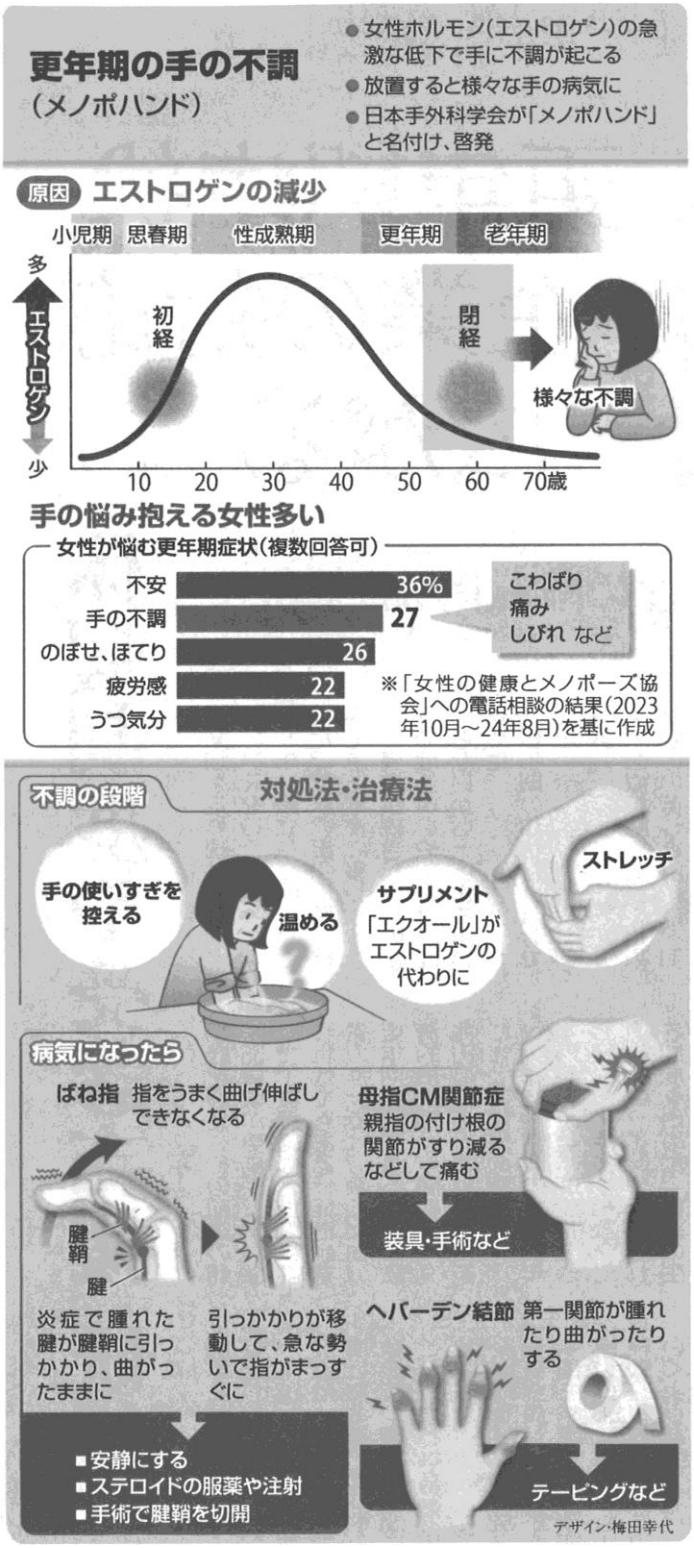
（一社）浦安市薬剤師会発行　　２０２５年１０月発行

第219号 まちのくすりやさん

今回のおはなし

- 「更年期の手の不調」
- 「 医療 DX とは 」



更年期の女性では、関節が痛む、こわばるなどの手の不調が表れることがあります。手の使い過ぎや老化だと思って放置すると、症状が悪化することがあり、早めの対処が大事です。この手の不調を「メノポハンド」と名付けています。

女性では 45～55 歳頃にある閉経前後の 10 年間を更年期と呼びます。この時期は、女性ホルモンのエストロゲンが急激に減るなどし、ほてりや発汗、動悸や息切れ、不安感など、心身の不調を起こしやすくなります。

手の不調はこうした更年期症状として表れることがあります。エストロゲンには、炎症を抑える役割もあるため、減少すると骨と筋肉をつなぐ腱や関節を含む滑膜などが腫れ、痛みやむくみ、しびれを起こすとされています。エストロゲン量が変動する産後の授乳期などにも、一時的に似た症状がでることがあります。

手の病気としては、ばね指、母指 CM 関節症、ヘバーデン結節などが代表的です。

「ばね指」は腱が腫れて、腱が通過するトンネル「腱鞘（けんしょう）」に引っかかるのが原因です。手の負担を減らすなどしても改善されなければ、ステロイドの飲み薬や注射で腫れを抑えます。それでもよくならない場合は、手術で腱鞘を切開することもあります。メノポハンド以外に、自己免疫疾患「関節リウマチ」などもあります。

不調の原因を見分けるためにも、「手外科専門医を早目に受診しましょう。

医療DXとは？

医療 DX とは、保健・医療・介護の各段階（疾病の発症予防、受診、診察・治療・薬剤処方、診断書等の作成、診療報酬の請求、医療介護の連携によるケア、地域医療連携、研究開発など）において発生する情報やデータを、全体最適された基盤（クラウドなど）を通して、保健・医療や介護関係者の業務やシステム、データ保存の外部化・共通化・標準化を図り、国民自身の予防を促進し、より良質な医療やケアを受けられるように、社会や生活の形を変えることです。

世界に先駆けて超高齢社会に直面する中、国民の健康寿命の延伸を図るとともに、社会保障制度を将来にわたって持続可能なものとし、将来世代が安心して暮らしていけるようにしていくことが、今後の我が国の継続的な発展のために不可欠です。

医療 DX は、医療分野でのデジタル・トランスフォーメーションを通じたサービスの効率化や質の向上により、
①国民の更なる健康増進、 ②切れ目なくより質の高い医療等の効率的な提供、③医療機関等の業務効率化、④システム人材等の有効活用、 ⑤医療情報の二次利用の環境整備の５点の実現を目指すものであり、我が国の医療の将来を大きく切り拓いていくものです。

医療 DX の実現に向け、「医療 DX の推進に関する工程表」に基づき、①全国医療情報プラットフォームの創設、②電子カルテ情報の標準化等、③診療報酬改定 DX を３本の柱とし、取組を進めています。

（一社）浦安市薬剤師会

〒279-0004 浦安市猫実１－２－５健康センター内
Tel　０４７－３５５－６８１２（月～金：10～15 時）
Fax　０４７－３５５－６８１０
メールアドレス　yaku_ura_t@urayaku.jp
ホームページ　https://www.urayaku.jp/